



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長(氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	138,663	6.9	17,283	0.8	17,860	1.1	12,515	2.7
2021年3月期第3四半期	129,694	—	17,151	—	17,658	—	12,184	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 11,863百万円(△25.6%) 2021年3月期第3四半期 15,943百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	248.85	—
2021年3月期第3四半期	242.24	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	215,745	131,333	60.4
2021年3月期	202,910	123,706	60.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 130,283百万円 2021年3月期 122,791百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2022年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2022年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,200	6.5	18,000	△6.1	18,500	△6.5	12,800	△4.6	254.48

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、対前期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	54,189,769株	2021年3月期	54,189,769株
2022年3月期3Q	3,911,964株	2021年3月期	3,891,130株
2022年3月期3Q	50,293,402株	2021年3月期3Q	50,300,267株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2022年3月期3Q 38,764株、2021年3月期 24,564株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により様々な経済活動への制約が続く中、ワクチン接種の普及もあり人流が増加傾向で推移するなど、経済活動が徐々に正常化に動き出す向きもありましたが、原材料価格や海上輸送費の高騰、さらに新たな変異株による感染再拡大のリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状態が続いております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、全体では1,386億6千3百万円と前年同期実績に比べ89億6千9百万円（6.9%）の増収となりました。

損益は、売上高の増収により、営業利益は前年同期実績に比べ1億3千2百万円（0.8%）増益の172億8千3百万円、経常利益も前年同期実績に比べ2億2百万円（1.1%）増益の178億6千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ3億3千1百万円（2.7%）増益の125億1千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;食料品製造事業&gt;

## 菓子食品部門

国内主力ブランドでは、「森永ビスケット」が定番品に加え、季節限定品も好調に推移しました。「ハイチュウ」は前年同期実績並みとなりました。「森永ラムネ」「カレ・ド・ショコラ」は新商品が好調に推移しました。「ダース」「チョコボール」「森永甘酒」「森永ココア」は前年同期実績を下回ったこともあり、主力ブランド全体では前年同期実績を下回りました。その他のブランドでは、「森永ホットケーキミックス」は巣ごもり需要が落ち着いたこともあり、前年同期実績を下回りました。これらの結果、国内全体では前年同期実績を下回りました。

海外では、ワクチン接種の普及などで経済活動の正常化がみられたこともあり、米国、中国は前年同期実績を大きく上回りました。台湾では今年発売60周年を迎えた「ミルクキャラメル」が好調に推移したこともあり、海外全体では前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は683億9百万円と前年同期実績に比べ20億1千7百万円（3.0%）増となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、営業利益は前年同期実績に比べ1億4千8百万円（2.9%）減益の49億6千6百万円となりました。

## 冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループ、「アイスボックス」は、積極的なプロモーションを展開しましたが前年の大幅な売上拡大の反動もあり前年同期実績を下回りました。その他のブランドでは、コンテンツとのコラボレーションを展開した効果もあり「板チョコアイス」「パキシエル」が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は339億1千8百万円と前年同期実績に比べ13億2千6百万円（4.1%）増となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、営業利益は前年同期実績に比べ15億9千8百万円（23.4%）減益の52億1千8百万円となりました。

## 健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、前年の大幅な売上減少の反動に加え、自宅トレーニングにおける栄養補給、在宅ワーク下での考えるためのエネルギー補給といった様々な飲用シーンの提案、体調不良時の食事代替ニーズの増加、フルーツ食感などの新たなニーズに対応した新商品の展開もあり、前年同期実績を大きく上回りました。「i nバー」は、手軽なタンパク質の摂取ニーズを訴求するとともに、在宅ワークにおける間食需要も取り込んだことで好調に推移しました。

通販事業は、積極的なプロモーションの展開によって「おいしいコラーゲンドリンク」が好調に推移し、通販事業全体としても好調に推移しました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は301億5千8百万円と前年同期実績に比べ52億4千8百万円(21.1%)増となりました。

損益は、主要なブランドが好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ17億3千4百万円(35.1%)増益の66億7千3百万円となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%) ]

菓子食品部門		冷凍部門	
森永ビスケット	109	ジャンボグループ	95
ハイチュウ	100	アイスボックス	92
森永ラムネ	109	健康部門	
カレ・ド・ショコラ	102	i nゼリー	121
ダース	91	i nバー	111
チョコボール	95	おいしいコラーゲンドリンク	118
森永甘酒	84		
森永ココア	85		
菓子食品主力品計	99		

※表内の数値は国内販売実績にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,323億8千5百万円と前年同期実績に比べ6.9%増となりました。セグメント利益は168億5千8百万円と前年同期実績に比べ1千2百万円の減益となりました。

## ＜食料卸売事業＞

売上高は、43億3千万円と前年同期実績に比べ6.3%増となりました。セグメント利益は2億5千1百万円と前年同期実績に比べ5千6百万円の増益となりました。

## ＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、14億6千4百万円と前年同期実績に比べ6.4%増となりました。セグメント利益は6億8千4百万円と前年同期実績に比べ1億円の増益となりました。

## ＜その他＞

売上高4億8千2百万円、セグメント利益1億3千9百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,157億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ128億3千5百万円増加しております。主な要因は、受取手形及び売掛金や建物及び構築物（純額）、機械装置及び運搬具（純額）が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は844億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億8百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,313億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億2千7百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.1ポイント減少し、60.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年11月10日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,568	35,063
受取手形及び売掛金	19,934	27,880
商品及び製品	11,430	12,987
仕掛品	319	408
原材料及び貯蔵品	7,962	8,903
未収還付法人税等	795	32
その他	6,078	5,407
貸倒引当金	△43	△41
流動資産合計	78,045	90,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,773	30,011
機械装置及び運搬具(純額)	23,579	28,031
土地	21,589	21,366
その他(純額)	11,488	5,340
有形固定資産合計	82,431	84,750
無形固定資産		
のれん	196	122
その他	231	215
無形固定資産合計	427	337
投資その他の資産		
投資有価証券	35,583	33,646
退職給付に係る資産	4,548	4,529
繰延税金資産	831	753
その他	1,080	1,122
貸倒引当金	△37	△36
投資その他の資産合計	42,006	40,014
固定資産合計	124,865	125,102
資産合計	202,910	215,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,162	24,049
1年内返済予定の長期借入金	—	10,000
未払金	9,847	9,172
未払法人税等	1,357	2,612
賞与引当金	2,595	1,394
資産除去債務	—	219
その他	17,619	17,395
流動負債合計	49,583	64,845
固定負債		
長期借入金	10,000	—
繰延税金負債	6,852	6,671
役員株式給付引当金	57	76
環境対策引当金	279	279
退職給付に係る負債	7,767	8,092
資産除去債務	262	43
受入敷金保証金	3,706	3,663
その他	694	739
固定負債合計	29,620	19,566
負債合計	79,203	84,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,292
利益剰余金	74,139	82,629
自己株式	△11,291	△11,384
株主資本合計	98,742	107,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,729	19,414
繰延ヘッジ損益	23	△3
為替換算調整勘定	493	1,055
退職給付に係る調整累計額	2,803	2,668
その他の包括利益累計額合計	24,049	23,134
非支配株主持分	915	1,049
純資産合計	123,706	131,333
負債純資産合計	202,910	215,745



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	129,694	138,663
売上原価	72,966	79,071
売上総利益	56,728	59,591
販売費及び一般管理費	39,576	42,308
営業利益	17,151	17,283
営業外収益		
受取利息	4	17
受取配当金	481	533
その他	208	194
営業外収益合計	694	745
営業外費用		
支払利息	24	25
持分法による投資損失	11	18
減価償却費	95	86
その他	55	37
営業外費用合計	187	167
経常利益	17,658	17,860
特別利益		
固定資産売却益	0	9
投資有価証券売却益	42	2
特別利益合計	42	12
特別損失		
固定資産除売却損	460	347
その他	24	0
特別損失合計	484	347
税金等調整前四半期純利益	17,216	17,525
法人税、住民税及び事業税	3,001	4,257
法人税等調整額	1,892	601
法人税等合計	4,893	4,858
四半期純利益	12,322	12,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	151
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,184	12,515

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	12,322	12,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,730	△1,314
繰延ヘッジ損益	△17	△27
為替換算調整勘定	△115	676
退職給付に係る調整額	32	△134
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△2
その他の包括利益合計	3,621	△803
四半期包括利益	15,943	11,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,805	11,600
非支配株主に係る四半期包括利益	138	262

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用により、従来販売促進費等として販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる対価については売上高から控除する方法、及び従来有償支給時に消滅を認識しておりました支給品については買い戻す義務を負っているため、当該支給品の消滅を認識しない方法等に変更しております。

当該会計方針の変更により、収益認識会計基準等は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品は975百万円、流動負債のその他は1,305百万円それぞれ増加しております。また、前第3四半期連結累計期間の売上高は24,507百万円減少し、売上原価は839百万円増加し、販売費及び一般管理費は25,327百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円減少しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は226百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)に記載の仮定に重要な変更は行っておらず、当該仮定のもと固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が長期化等した場合には、将来の財政状態及び経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	123,795	4,075	1,377	129,247	446	129,694	—	129,694
セグメント間の内部売上高	99	136	0	236	694	931	△931	—
計	123,894	4,212	1,377	129,484	1,141	130,625	△931	129,694
セグメント利益	16,870	195	584	17,650	124	17,774	△623	17,151

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。  
2 セグメント利益の調整額△623百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△649百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。  
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
菓子食品	68,309	—	—	68,309	—	68,309	—	68,309
冷菓	33,918	—	—	33,918	—	33,918	—	33,918
健康	30,158	—	—	30,158	—	30,158	—	30,158
その他	—	4,330	575	4,906	482	5,388	—	5,388
顧客との契約から生じる 収益	132,385	4,330	575	137,292	482	137,774	—	137,774
その他の収益	—	—	888	888	—	888	—	888
外部顧客への売上高	132,385	4,330	1,464	138,180	482	138,663	—	138,663
セグメント間の内部売上高	105	176	0	281	678	959	△959	—
計	132,491	4,506	1,465	138,462	1,160	139,623	△959	138,663
セグメント利益	16,858	251	684	17,794	139	17,934	△651	17,283

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。  
2 セグメント利益の調整額△651百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△665百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。  
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

「注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

## 3. 補足情報

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期以前の数値については、当該会計基準等に基づいた数値としております。

## ① 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	129,694		138,663		8,969		6.9
売上原価	72,966	56.3	79,071	57.0	6,105	0.7	8.4
販売費及び一般管理費	39,576	30.5	42,308	30.5	2,732	△ 0.0	6.9
販売促進費	3,228	2.5	3,606	2.6	378	0.1	11.7
広告宣伝費	5,594	4.3	6,279	4.5	685	0.2	12.3
運賃保管料	11,319	8.7	12,280	8.9	961	0.2	8.5
給料手当	6,330	4.9	6,611	4.8	281	△ 0.1	4.4
賞与引当金繰入額	774	0.6	779	0.6	5	△ 0.0	0.7
その他	12,329	9.5	12,751	9.2	422	△ 0.3	3.4
営業利益	17,151	13.2	17,283	12.5	132	△ 0.7	0.8
営業外収益	694	0.5	745	0.5	51	0.0	7.3
営業外費用	187	0.1	167	0.1	▲ 20	△ 0.0	△ 10.6
経常利益	17,658	13.6	17,860	12.9	202	△ 0.7	1.1
特別利益	42	0.0	12	0.0	▲ 30	△ 0.0	△ 72.0
特別損失	484	0.4	347	0.3	▲ 137	△ 0.1	△ 28.3
税金等調整前四半期純利益	17,216	13.3	17,525	12.6	309	△ 0.7	1.8
法人税等	4,893	3.8	4,858	3.5	▲ 35	△ 0.3	△ 0.7
四半期純利益	12,322	9.5	12,666	9.1	344	△ 0.4	2.8
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	0.1	151	0.1	14	0.0	9.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,184	9.4	12,515	9.0	331	△ 0.4	2.7

## ② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	123,795	132,385	8,590	6.9
(売上高構成比)	(95.5%)	(95.5%)		
セグメント利益	16,870	16,858	▲ 12	△ 0.1
食料卸売				
売上高	4,075	4,330	255	6.3
(売上高構成比)	(3.1%)	(3.1%)		
セグメント利益	195	251	56	28.6
不動産及びサービス				
売上高	1,377	1,464	87	6.4
(売上高構成比)	(1.1%)	(1.1%)		
セグメント利益	584	684	100	17.0
その他				
売上高	446	482	36	8.0
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	124	139	15	12.6

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

## ③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	増減率(%)
連結売上高	129,694	138,663	8,969	6.9
営業利益	17,151	17,283	132	0.8
食料品製造 売上高	123,795	132,385	8,590	6.9
営業利益	16,870	16,858	▲ 12	△ 0.1
菓子食品 売上高	66,292	68,309	2,017	3.0
営業利益	5,114	4,966	▲ 148	△ 2.9
冷菓 売上高	32,592	33,918	1,326	4.1
営業利益	6,816	5,218	▲ 1,598	△ 23.4
健康 売上高	24,910	30,158	5,248	21.1
営業利益	4,939	6,673	1,734	35.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	115,175	120,479	5,304	4.6
海外売上高	8,619	11,906	3,287	38.1

海外売上高比率(対連結売上高)	6.6%	8.6%
-----------------	------	------

## ④ 2030経営計画における重点領域 売上高

(単位:百万円)

重点領域	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	増減率(%)
in事業	19,117	22,865	3,748	19.6%
通販事業	5,579	6,700	1,121	20.1%
米国事業	5,507	7,553	2,046	37.2%
冷菓事業	32,312	33,484	1,172	3.6%
合計	62,516	70,604	8,088	12.9%

(注) 1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 当社グループは「2030経営計画」(2021年5月20日発表)における基本方針の1つとして事業ポートフォリオの転換を掲げ、成長性と収益性が見込める4つの事業を「重点領域」に選定しております。「重点領域」の各事業と従来の開示区分との関係性は下図のとおりです。

従来の開示区分 追加開示区分		食料品製造			食料卸売 不動産及びサービス その他
		菓子食品部門	冷菓部門	健康部門	
重点領域	in事業 <sup>1</sup>	● <sup>2</sup>	—	●	—
	通販事業	—	—	●	—
	米国事業	●	—	—	—
	冷菓事業	—	●	—	—
基盤領域	菓子食品事業	●	—	—	—
	台湾事業	●	●	●	—
	国内事業子会社等	● <sup>3</sup>	—	—	● <sup>4</sup>
探索・研究領域 <sup>5</sup>		●	●	●	—

● … 売上高が発生していることを示す

1 … inゼリー、inバーなど原則としてinブランドを冠した商品群で構成

2 … inタブレット、inショコラなど

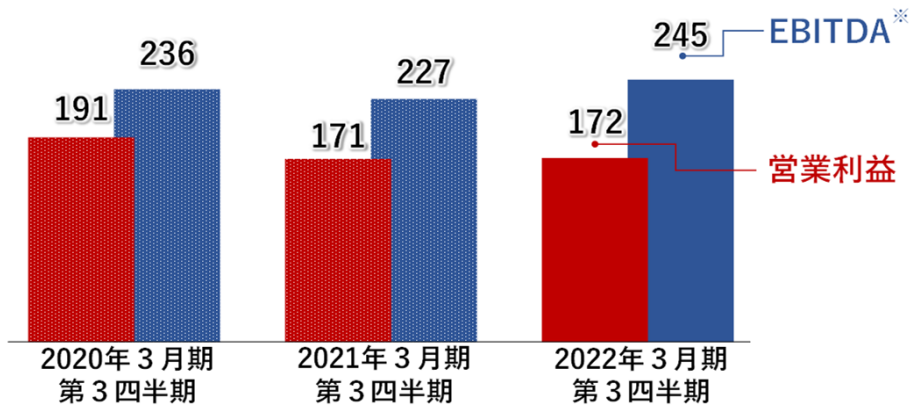
3 … (株)アントステラ、森永市場開発(株)

4 … 森永商事(株)、(株)森永生科学研究所、森永高滝カントリー(株) ほか

5 … 中国、東南アジア、欧州、オセアニア ほか

## ⑤ 営業利益及びEBITDA推移

(単位:億円)



※EBITDAは簡易版を使用→営業利益+減価償却費